

今月のよっしー

今年医学部に入学した1年生（地域特別枠・地域枠）に初めて対面にて講義をすることができました。対面はいいですね。

6年生もおかげさまで地域包括ケア実習にて現地の皆様に受け入れていただきまして感謝しております。今年から本学の卒業試験は模擬患者での実技試験のみになりました。実際の患者さんでの経験を積むことが何よりの学びになります。引き続きよろしくお願ひ申し上げます。



教授 吉村 学

連載企画

臨床実習病院・診療所紹介 「おび中央病院」

医療法人慶明会 おび中央病院 院長 松尾 佳一郎 先生

当院は飫肥城下の落ち着いた街並みの中にある72床の療養型病院となります。地域の方々に信頼される病院になるために、各種検査の充実や生活習慣病や企業の検診、禁煙外来や物忘れ外来等外来機能の強化、また、療養型ではありますが可能な限り患者さんの必要とする入院医療を提供することを目標に病院改革を進めてまいりました。

また、当院は隣接する老健施設やグループの社会福祉法人が有する介護施設（有料老人ホーム、通所介護、訪問介護、訪問看護、小規模多機能施設等）とも連携しており、



実習に訪れた学生さん方にも医療と福祉の連携を中心に、地域包括ケアシステムの取り組みを経験してもらっています。

今後さらに、地域密着型の病院として機能を高めるため「地域包括ケア病床」の導入へ向けて準備を行っているところです。



▲新規に設置された日南市地域コミュニティバス停留所にて

PC論文
レビュー

「診察室での血圧測定は、自動血圧の方が手動より精度が高い」

Comparing automated office blood pressure readings with other methods of blood pressure measurement for identifying patients with possible hypertension. A systematic review and meta-analysis. JAMA Intern Med. 2019; 179(3): 351-362

<論文のPECOと結果>

Patient：9,279人の患者（女性4,543人）（31論文のメタ分析）

Exposure：自動診察室血圧（AOBP）（静かな場所にて一人で座って適切に測定）

Comparison：医療スタッフによる手動の診察室血圧

Outcome：覚醒中の携帯型自動血圧（参照標準）との差

オフィス自動血圧測定は携帯型自動血圧計と有意な差がなかったが、日常診療現場での手動血圧測定は13.4/5.9高い数値であった。

<コメント>自動診察室血圧（AOBP）は、白衣効果を除去できる可能性があります。ただ日本では場所確保の問題もあり、あまり普及していません。日本高血圧学会はAOBPと家庭血圧が異なる値を示す研究が出たことから、AOBPを家庭血圧の代替指標として使用することは推奨せず、診察室血圧よりも予後評価に優れた家庭血圧を指標とした高血圧の診断・治療を推奨しています（2019.6.21）。また時々自宅の血圧測定器を持ってきてもらい、診察室のものと比較調整するのも良いかもしれません。

講義「地域医療学」を開催しました。

地域医療学の講義は医学科1年～3年生までの3年間に亘る全8回の講義になります。5月末から6月にかけて、4本の講義を実施しました。

<医学科2年生対象>

○6月3日(水) 松田俊太郎先生の「医療コミュニケーション」講義

<医学科3年生対象>

○5月27日(水) 梶田一旭先生、枝元真人先生の「呼吸困難～これまでの知識で診療してみよう～」

○6月10日(水) 武蔵国分寺公園クリニックの名郷直樹院長先生の「地域医療と私～副腎に求めよ～」

○6月17日(水) 桐ヶ谷大淳先生の「在宅医療、地域まるごとケア、人生の最終章を考える」

新型コロナの感染拡大防止対策により、リアルタイムでのオンライン講義から対面講義へと講義スタイルが変わった月となりましたが、オンラインの場合は、学生の反応が分かりづらかったり、音声聞き取りにくかったりというやりにくさもあつたと思います。そのような中でも、先生方のご準備のおかげで、無事今年度前半の講義を終えることができました。先生方、ありがとうございました。



▲松田先生（オンライン講義）



▲梶田先生・枝元先生（オンライン講義）



▲名郷先生（東京から遠隔講義）



▲桐ヶ谷先生（対面講義）

「みやざき総合診療オンライン合同学習会」を開催しました。

5月30日(土)にみやざき総合診療(仮称)第1回オンライン合同学習会を開催しました。この学習会は、県立宮崎病院、古賀総合病院、宮崎生協病院と当講座とでタッグを組み、合同で学びの機会を設けることとしたものです。トップバッターは宮崎生協病院の井上奈津子先生による行動変容へのアプローチに困った症例検討、続けて同じく宮崎生協病院の眞川昌大先生、柳田洋平先生による「自分だけ、自施設だけで完結できないとき」と題した症例検討、古賀総合病院の松浦良樹先生によるレクチャー「『見て学ぶ』のその前に～病状説明はじめの一步～」、最後は当講座の枝元真人先生によるレクチャー「初期研修医、後期研修医に伝えたいこと」という4本立ての内容でした。

県内外から医学生、研修医、指導医の先生方など約26名に参加していただきましたが、今後も継続して計画していく予定です。是非ご参加ください。



▲学習会の様子

「ALL MIYAZAKI総合診療専門医研修プログラム&医局説明会」を開催します。

このたび個別オンライン説明会を企画しました。仕事の合間・終わりなど都合のよい時間に合わせて、オンラインで接続させていただきます。

【日時】平日17-19時、土曜日9-17時(30-60分程度) ※希望日より1週間前までにお申し込みください。

【対象者】初期研修医(学年問わず)、専攻医以上の医師 ※それ以外でも希望される方はご相談ください。

【方法】WebEXを利用したビデオ会議 ※オンラインでの接続方法は、日程調整後お知らせします。

【内容】プログラムの説明、基幹施設・連携施設の紹介、講座の仕事内容、個別よろず相談など少しでもご興味がある方は個別にご質問に答えますので、お気軽にご連絡ください。

詳細は当講座のFacebookをご覧ください!!

こちらからどうぞ ⇒ ⇒ ⇒



宮崎大学 医学部 地域医療・総合診療医学講座

〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原5200 TEL:0985-85-9809 FAX:0985-85-9805

E-Mail : chiikiiry@med.miyazaki-u.ac.jp URL <http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/community-medicine/>